

# 2022年1月から大きく変わる！ 「改正電子帳簿保存法」を 活用すれば紙の管理から解放されます！

>> 要件が緩和され、企業にとって格段に活用しやすくなりました。

税務署への  
申請の廃止

領収書への  
自署の廃止

3営業日以内  
→約2か月以内

一定の条件で  
タイムスタンプが不要

定期検査不要で  
廃棄可能

参考：[国税庁「令和3年度税制改正による電子帳簿等保存制度の見直しについて」](#)

## 改正電子帳簿保存法によるメリットは大きい

＜現状の文書管理＞

金銭的・人的コスト大

保管コスト(倉庫代・スペース)

ファイリングの作業コスト

探索・抽出の作業コスト

＜現状の文書管理＞

文書管理コスト削減

保管コスト削減

ファイリング作業不要

検索も手間なし

>> 電子化は簡単にスタートできます！

社内検討

税理士・監査法人へ  
相談

電子帳簿保存法対応  
製品の利用

・電子化についてのご相談の  
窓口をご用意しております。  
(※詳細は裏面参照)

・申請の前に一度ご相談される  
ことをお勧めします。

・スキャナ 200dpi以上  
・スマホ、デジカメ 388万画素以上  
・タイムスタンプ

勘定奉行クラウドは**経理書類(証憑)**の**電子保存**に対応する機能を**標準搭載**しています。  
電子化にご興味のあるお客様はこの機会に是非ご活用ください！

## >> 勘定奉行が電子化をサポートします！

様々な文書管理  
サービスと連携

申請書の記入例を  
提供

電子化の相談窓口が  
あるから安心

## 勘定奉行で電子帳簿保存法を行うための3ステップ

### Step 1 スキャン／撮影

画面上で証憑を確認しながら取引入力。  
証憑のアップロードも自動化します。



### Step 2 登録／関連付け

画像を見ながら仕訳明細をクリックする  
だけの簡単操作で証憑データを一括添付。



### Step 3 検索

電子帳簿保存法における仕訳から証憑の  
追跡要件に対応し、勘定奉行クラウドから  
証憑の検索が可能となります。

仕訳伝票リスト

仕訳伝票承認

財務会計システム  
勘定奉行クラウド

仕	明	金額	仕	明	金額	仕	明	金額
1	仕	2,800,000	002	仕	2,800,000			
100	仕	400,000	002	仕	400,000			
100	仕	2,400,000	002	仕	2,400,000			
2	仕	700,000	002	仕	700,000			
100	仕	400,000	002	仕	400,000			
100	仕	300,000	002	仕	300,000			
3	仕	400,000	002	仕	400,000			
100	仕	400,000	002	仕	400,000			
4	仕	400,000	002	仕	400,000			
100	仕	400,000	002	仕	400,000			
5	仕	400,000	002	仕	400,000			
100	仕	400,000	002	仕	400,000			

## 電子化を実現する6つの特徴

画像要件チェック

タイムスタンプの  
付与

入力者の情報保持

帳簿との互換関連  
性確保

修正・削除の履歴

証憑の検索・参照

※今後OCR機能も搭載予定

## リモートデモ受付中！

スマートフォンからも  
お申し込み頂けます！

OBC専任担当がZOOMを利用して、製品の画面をご紹介しますながら質問にお答えしたり、運用方法のご提案致します。

お申込みURL <https://www.obc.co.jp/service/nencho/demo/inquiry>

